

シラバスの利用について

シラバスは、各授業科目の担当教員が、授業開始に先立ち受講者に提示する授業概要のことです。その中には当該授業科目での学修目標（到達目標）、各週ごとの詳細な授業計画（これには皆さんが果たすべき予習・復習内容も含んでいます）、成績評価方法、到達目標に基づいた成績評価基準、使用する教科書・参考図書・資料、および心構えなどを明記してあります。したがって、シラバスは、事前に授業担当者が何を目標として講義するのか、また、学生諸君が何をどこまで、どのようにして学修しなければならないのか、を知る拠り所です。学生諸君は、このような情報を事前に十分理解しよく吟味することで、自ら学ぼうとする科目を主体的に選択でき、履修計画を立てる上で重要な指針となることをしっかりと理解してください。さらに、履修途上で、到達度を確かめながら勉学を進めることができる点はシラバスの効用といえることができます。

大学では、学生諸君が4年間の学修の後、つまり卒業時に到達すべき目標を掲げ、その達成に向け教職員一丸となって支援していきます。その中で、諸君は主体的、つまり自らの意思に基づき学修することが求められています。さらに、諸君がそれぞれの生涯にわたる目標を設定し、その目標の達成に向けた勉学を進めることができるカリキュラムを用意しています。

このシラバスを大いに利用し、自らの個性と創造力を伸ばすことを目指してください。そのために必要・適切な科目を選択した上で履修申請し、多文化・異文化を受け入れるとともに、人類全体の文化・社会および自然に関する理解を進めてください。

1年次の学生諸君は、入学直後の慌ただしさの中でもじっくりシラバスを読み解きながら、基礎学力を磨き、さらに教養、すなわち人間力を高めていくことを念頭に置いて履修を進めてください。また、今後進んでいく専門分野を展望し、高学年次での履修計画を立てるための参考資料としても役立ててください。一方、2年次以上の諸君は当該学年および年次を越えた履修計画を立て、必要・適切な科目を選択した上で履修申請し、学修に励んでください。

なお、各学部の授業科目は入学年度に応じて、以下のとおりに分かれています。

（工学部）

2013年度以前入学生：共通科目、専門科目

2014年度以降入学生：キャリア形成の基礎、工学の基礎、専門科目、数理科学と教育、その他連携科目

（ロボティクス&デザイン工学部）

共通教養科目、工学関連科目、その他連携科目、専門横断科目、専門科目

（知的財産学部）

2013年度以前入学生：基礎教育科目、専門科目

2014年度以降入学生：導入領域、教養領域、専門領域、展開領域、その他連携領域（情報科学部）

2013年度以前入学生：共通科目、専門科目

2014～2017年度入学生：共通科目、専門科目、自由科目

2018年度以降入学生：共通科目、キャリア科目、専門科目、自由科目

卒業要件を満たすためには、それぞれの科目区分ごとに所定の単位を修得する必要があります。学生諸君はそのことを踏まえ、シラバスをもとに各科目の内容を事前に把握した上で主体的な勉学を進めてください。

上記のようにシラバスは、単に履修科目の選択のためだけに存在するものではありません。授業の進度や各人の到達度などを確かめながら勉学を進める指針になります。したがって、授業時に常時携行することで、このシラバスを十分に活用し、専門的職業人としての知的創造力を身に付けていってください。